

虎耳草

岩蓮花

岩にとり付て生る、丸の花のかたちにてちいさく、一つに子多くわかれ生え、きくめい

石木石等にうへてながめとなれり、佛甲草とは各別のものなり、又一種有て蓮花大きく色うす白し、唐蓮花といふ、岩蓮花とは是文別のもの。

〔多織編〕二石草虎耳草、今案登良乃美。

〔和爾雅〕七草木虎耳草ユキノシタ右荷葉同

〔大和本草〕七草園草虎耳草 本艸石草ニ載ス、雪ノ下ト云、又キジンサウト云、其花白シテ二片アリ、他花ニ異ナリ、梢ニ先一花開テ後下枝ノ衆花サク、是亦他花ニカハレリ、多クサキタルハ愛スベシ、甚暑ヲオソル、暑ニテヒテカハケバ枯ヤシ、日ヲ掩ヒ水ヲソムグベシ、根下ノ蔓ヨリ根ヲ生ズルハ活ヤシ、獨根ヲウフレバ枯ル、秋ウフレバ枯ヤシ、春ウフレバ枯ヤシ、陰地ニウヘタルハ活ヤシ、石ク側ニモタクベシ、キジン草ヲ菟葵ナリト云說アリ誤レリ。

〔和漢三才圖會〕右草八虎耳草 石荷葉 俗云雪下草略中

按虎耳草葉布地生、其花白帶淡紅、微似秋海棠之態結子、採其葉黑燒和油、傳小兒頭瘡爲良。

〔重修本草綱目〕啓蒙十六石草虎耳草 立キノシタ キジンサウ 筑前 オドバク 泉州 キンギジサ

○・石州 イハカヅラ 上野 イハブキ 越前 一名金絲荷葉汝南 葉下紅百病全方 金絲荷花曆

旱草南寧府志 蟹殼草秘傳花鏡 金線草 金絲草共上同 虎鬚草靖江縣志 獅子耳汀州府志 耳草證治準繩 猪

母聰 虎聰草 獅子聰共同

山谷陰濕石上三生ズ、又市中ニモ多ク栽ニ、甚繁茂シ易シ、葉ハ圓扁ニシテ蟹殼ノ如シ、周邊ニ淺岐アリ、質厚ク面深綠ニシテ紫色ヲ間ヘ、紋脈白色ニシテ紫毛ナリ、背ハ毛ナクシテ淡紫色、ニ根ニ數葉布生ス、夏月莖ヲ抽ルコト長サ一尺許、紫毛多シ、花多ク穗ヲナメ、其形白色ノニ長瓣下垂シ、ニシテ短小瓣上ニ並ビテ品字ラナス、粉紅色ニシテ紅點アリ、一種粉紅花ノ者アリ、甚稀ナリ、